

障がい者の自立支援を

問 自立支援法の実施によ

つて、応益負担導入による負担増、報酬切り下げによる事業者の経営困難など、自治体や障がい者に大変な困難をもたらしている。利用料・医療費の市独自の軽減を強く求めるがどうか。

個人 質問 丸山わき子

榎戸駅の改修と周辺対策

問 榎戸駅は、既存の跨線橋にエレベーターを設置することであるが、貧弱な施設に無理やりエレベーターを設置するのはな



榎戸駅

く、利用者の利便を図る上で、計画的な駅舎改修を求めるとか。

市長 昨年11月、JR東日本千葉支社から既存の跨線橋にエレベーター設置を検討しているとの口頭による説明と市への協力要請があった。JR側からの動きという異例のことであり、この機会をつまく活用しながら榎戸駅施設の改善に向けて協議を進めてまいりたい。

問 駅周辺が大変暗く、早急に街灯設置を求めるがどうか。

市長 防犯灯の設置で対応したい。

子育て支援

問 就学前までの医療費の無料化は、全国的な流れとな

っている。乳幼児医療費助成制度は、子育て支援の重要な柱と考

えるが、市としての位置づけを伺う。また、現在2歳までの医療費は無料となっているが、本市においても計画的に助成を1歳ずつ引き上げ、医療費無料化の拡大を実施すべきと思うがどうか。

市長 「八街市次世代

育成支援行動計画」を平成17年3月に策定し、「地域における子育ての支援」の中で、乳幼児医療費の助成を位置づけている。対象年齢の引き上げについては、

さらに調査・研究が必要と思われる。当面、国・県の制度と同様に対応したい。

問 学童保育について、笹引小学区への設置計画を伺う。また、中央児童クラブは規模からいっても、防犯上・安全性からも実住学区・東小学区への分離をす

べきである。実態をどのように受け止めているのか。分離実施への見解を伺う。

市長 笹引小学区については、既存の公共施設、公共用地等の利用を視野に入れ、地域のニーズ、今後の児童数の推移等も考慮しながら、設置に向けて検討している。また、八街東小学校区内への児童クラブ設置の必要性については、十分認識しており、公共施設の利用も含め、検討している。

市営住宅の住環境向上

問 平成6年作成の市営住宅マスタープランは、既に10年を経過し、第3期計画の時期を迎えている。し

かし、一期計画の富士見団地は退去・移転をさせたままであり、笹引・交進住宅も一層老朽化が進んでい

る。高齢者・障害者にとつてもノーマライゼーションの住環境とはほど遠く、早急な改修が必要である。整備計画の見直しはされたのか。また、交進住宅の老朽化で立ち退きを求めている

がその後の整備計画はどのようになっているのか。

市長 ただ単に市営住宅として建て替えるということではなく、時代のニーズに

適応した施設の整備を含め、市営住宅のあり方やより有効的な活用を幅広く検討してまいりたい。交進住宅については、耐用年数で

ある30年が経過し、老朽化が進んでおり、昭和42年度当初から管理している8棟のうち、1棟は特に老朽化が著しく、シロアリも発生する

など、家賃に対して修繕費用がかさみ、維持することが困難な状況となっている。そのため、この1棟については、今後、募集の停止を検討したい。なお、跡地利用については、今後の状況を見ながら検討したい。

公明党

鯨井眞佐子
京増 良男
新宅 雅子
川上 雄次

個人 質問 新宅 雅子

食育

問 「食育推進計画」の策定を望むが、取り組みは如何か。

教育長 毎年6月に実施する「食育月間」及び毎月19日に実施する「食育の日」は、重点的な広報啓発活動が展開され、国民運動として食育が推進されています。これを受けて県や市町村で

も、食育推進計画を早期に作成するよう依頼がありました。

今後、八街市としての食育推進計画を関係各課と検討します。

問 基本計画の中では、5年以内に朝食欠食児童ゼロを目指しているが、本市ではどのように取り組んでいるのか。

教育長 「朝食欠食児童ゼロ」という視点は、生活習慣の確立として基礎・基本と考えます。「食育」という共通の認識のもとで、基本計画に従い、学校・家庭・地域がお互いに連携をし、朝食欠食児童ゼロを目指して、今後も努力します。



問 同じく基本計画の中で地産地消の取り組み、地元農産物を学校給食に使用する割合を30%以上に引き上げ、地域への理解を深めるとあるが、実際30%は可能なのか。またどのように取り組むのか。

教育長 学校給食センターは、できるだけ地元産の使用を考えています。平成17年度の生鮮野菜は、